



平成28年10月31日

各 位

会社名 株式会社四電工  
代表者 取締役社長 家高 順一  
(コード番号 1939 東証第一部)  
問合せ先 企画広報部長 浪越 敬二  
(TEL. 087-840-0223)

## 「中期経営指針 2020」の策定に関するお知らせ

当社は、このたび、「中期経営指針 2020」を策定し、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 策定の背景

当社を取り巻く環境が不透明性と不確実性を増すなか、今後の厳しい事業環境に立ち向かうための拠り所とすべく、2020年を目標年度とする「中期経営指針 2020」を策定いたしました。

#### 2. 基本指針

- 2020年までを「体力増強」の期間と位置づけ、成長・拡大路線を継続いたします。
- 併せて、この体力が温存できる期間を極力長期化しつつ、この間に次の時代への布石を、「体質強化」という形で打ってまいります。

#### 3. 2020年度の目標（連結）

	実績(2015年度)	目標(2020年度)
売上高	719億円	850億円以上
営業利益	19億円	30億円以上
ROE(自己資本当期純利益率)	3.3%	5%程度

#### 4. 重点施策

- 上記目標を達成するため、以下の3つを重点施策と捉え、優先的に取り組んでまいります。

① 人財づくりと能力の発揮      ② 経営体質の強化      ③ 新たな挑戦と創造

- 併せて、将来に備えた100億円規模の成長投資枠を設定いたします。

なお、本指針の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

# 中期経営指針2020

～ 10年後を見据え、今すべきこと ～

2016年10月



YONDENKO

今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

1. はじめに ～新コーポレートメッセージ～
2. 守るべきもの、付加すべきもの
3. 事業環境
4. 基本指針
5. 新たな目標
6. 重点施策
7. 結び

本資料に関する注意事項

# 1. はじめに ～新コーポレートメッセージ～



## 「今日を支え <sup>あす</sup> 明日を創る 四電工」

当社は、去る2013年に設立50周年を迎え、次なる半世紀への道を歩みだしているところです。

今この時は、まさに大きな構造変化の只中にあり、改めて今こそ、我々の視野をより遠くに据えながら、これまでの来し方、これからの行く末に、熟慮を重ね、新たな準備と挑戦を開始すべき時だと考えます。

このため、ここに、「中期経営指針」を策定し、今後の厳しい事業環境に立ち向かうための拠り所とすることといたしました。

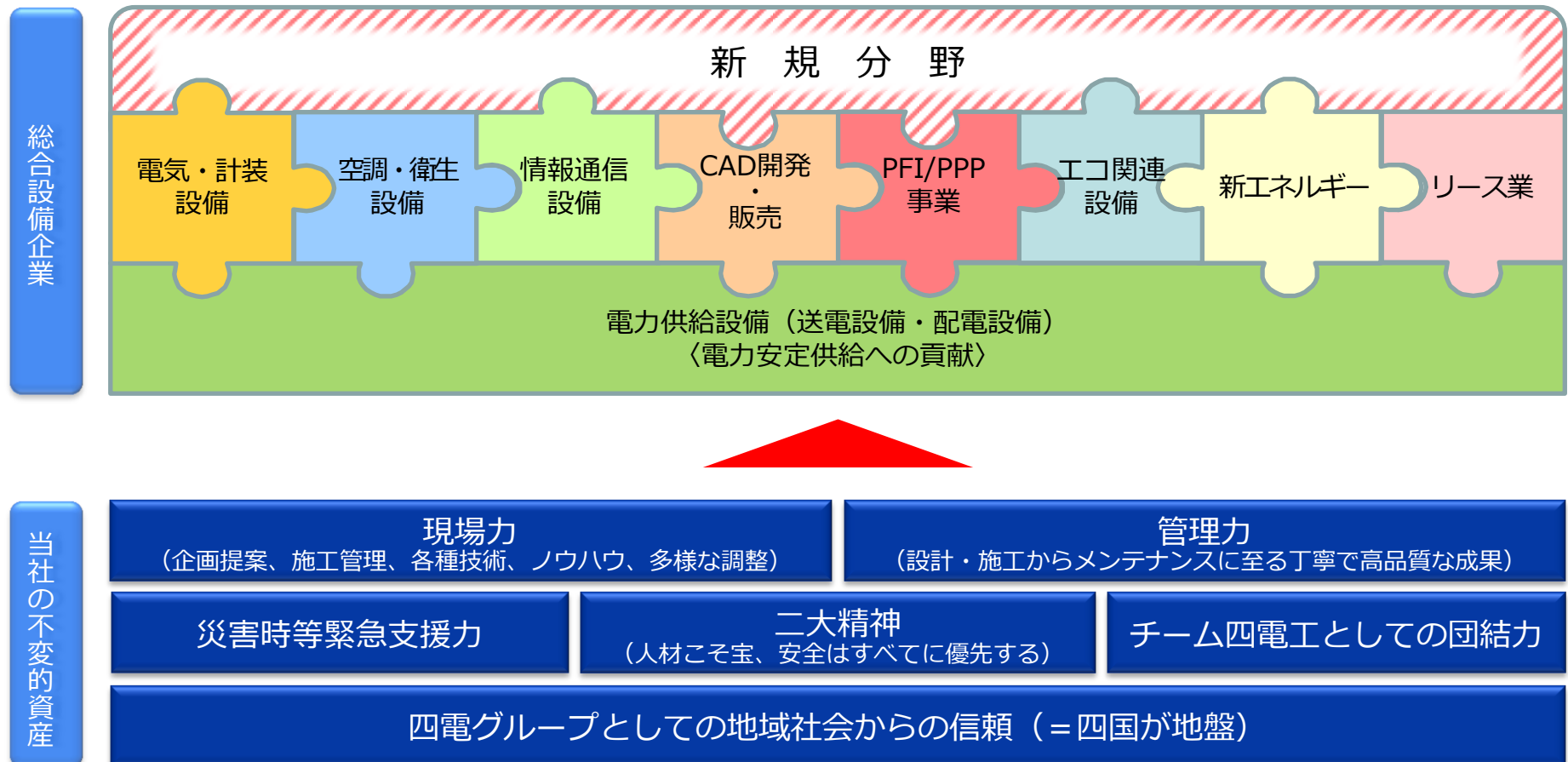
コーポレートメッセージの「今日を支え 明日を創る 四電工」は、まさしくこの策定過程において、全社員への呼びかけ（募集）の中から、“これまでとこれから”の当社を体現するに相応しい言葉として選択したものであり、

- **暮らしに寄り添う なくてはならない存在**
- **ひた向きで地道な努力の姿勢**
- **新たな挑戦によって開拓し、創り上げていく未来への拡がり**

等々を内包しており、今後とも、チーム四電工の志を伝えるものとして、日々の合言葉にしていまいります。

## 2. 守るべきもの、付加すべきもの

### いつまでも伝えていくべき資産



### 再確認と充実強化

当社がこれまでの半世紀に及ぶ歴史の過程で営々と培ってきた様々な資産（目に見えるモノ、見えないモノの全て）を改めて確認し、今後の事業展開の礎（土台）として、一人ひとりがこれを自信と誇りに代えて、新しい時代を切り拓いていく源とします。

設備工事を主たる事業とする当社は、

「人々の生活や生産に不可欠な活動空間を、  
時代のニーズに即して提供する」

という社会的使命と役割を担っており、ここに引き続き未来にわたる存在意義を託しています。

## チャンスの最大活用とリスクの最小化

ますます複雑化、不安定化を増し、一層の不透明性・不確実性を覚悟せざるを得ないと予想される将来環境の中、我々は、これからの時代を大きく以下の二つに分けて捉えています。

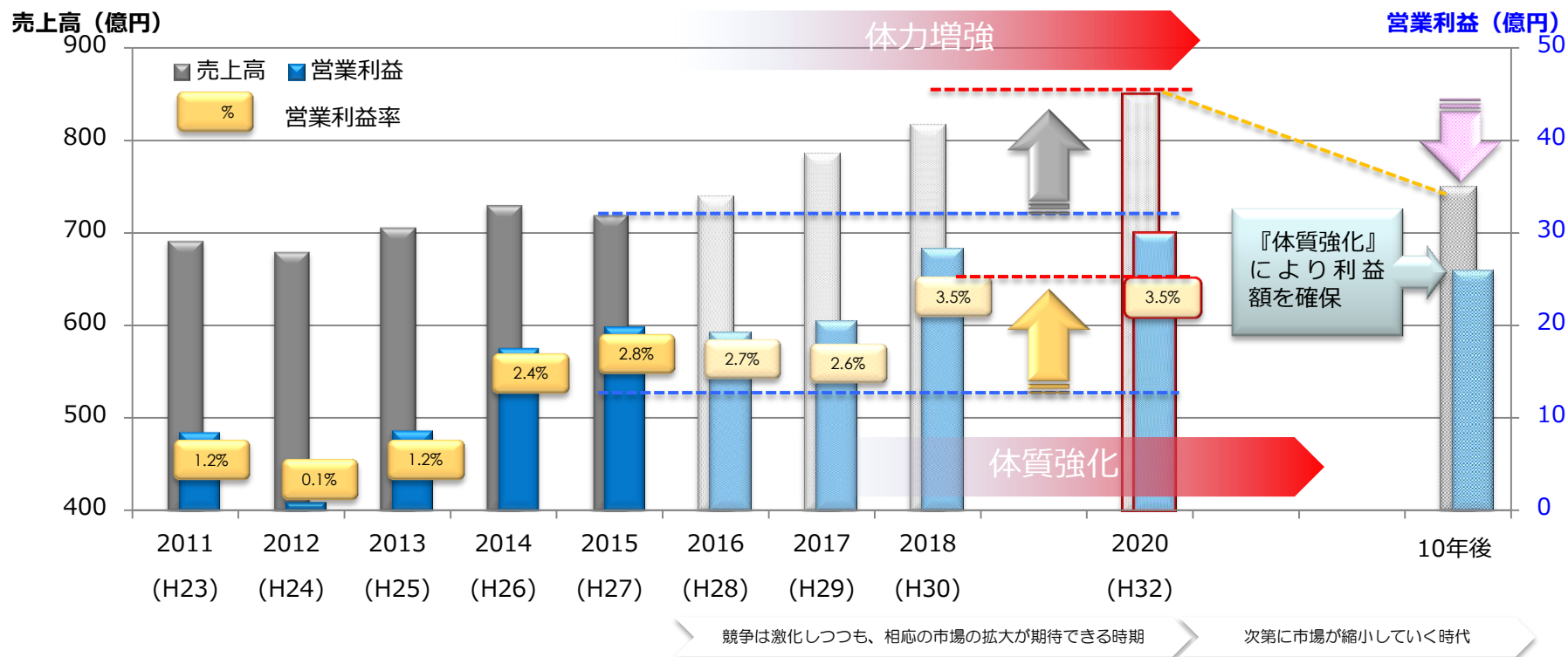
- ① 2020年まで：競争は激化しつつも、相応の市場の拡大が期待できる時期
- ② 2020年以降：少子高齢化の加速、経済社会の成熟化等により、次第に市場が縮小していく時代

その上で、中期経営指針における目標年次を2020年とし、「チャンスの最大活用」と「リスクの最小化」に努めることとします。



## 時代区分に応じた経営の展開

- ・ 2020年までを**体力増強**の期間と位置づけ、成長・拡大路線を継続します。
- ・ あわせて、この体力が温存できる期間を極力長期化しつつ、この間に次の時代への布石を、**体質強化**という形で打っておきます。

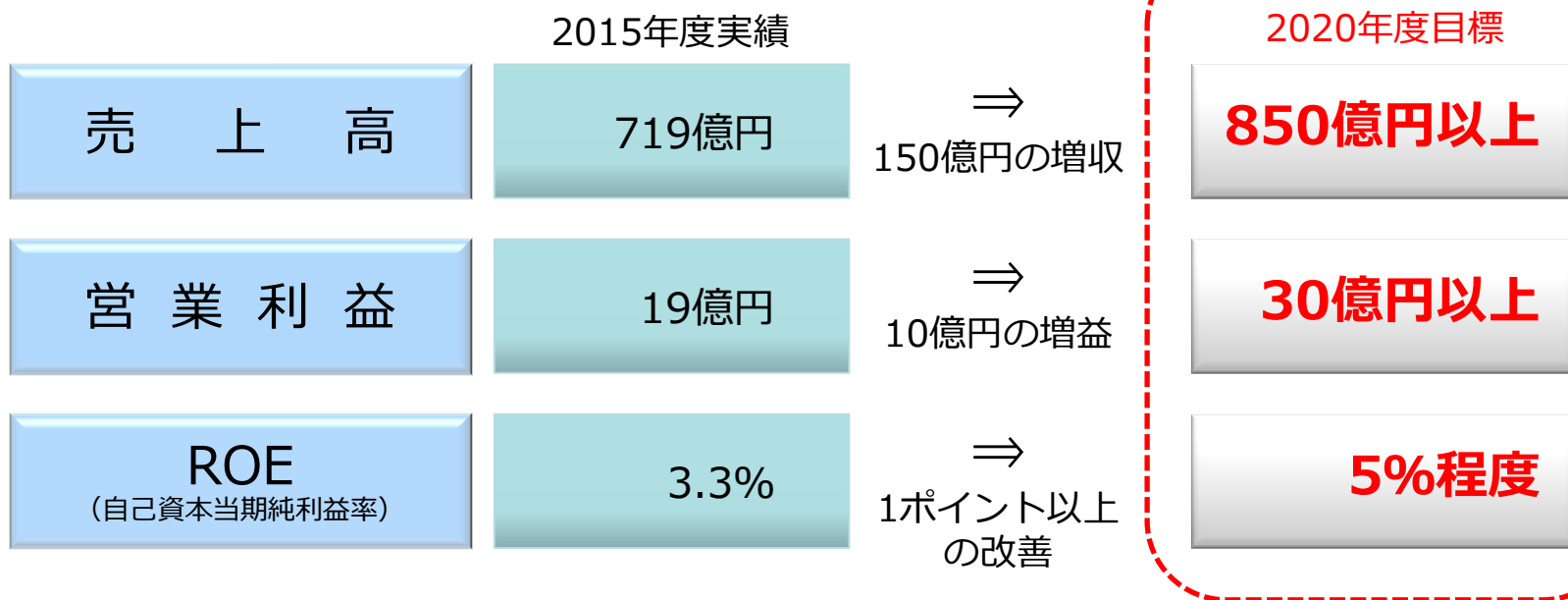




# 5. 新たな目標

## 2020年度に次の目標への到達を目指します！

《 2020年度目標値（連結） 》



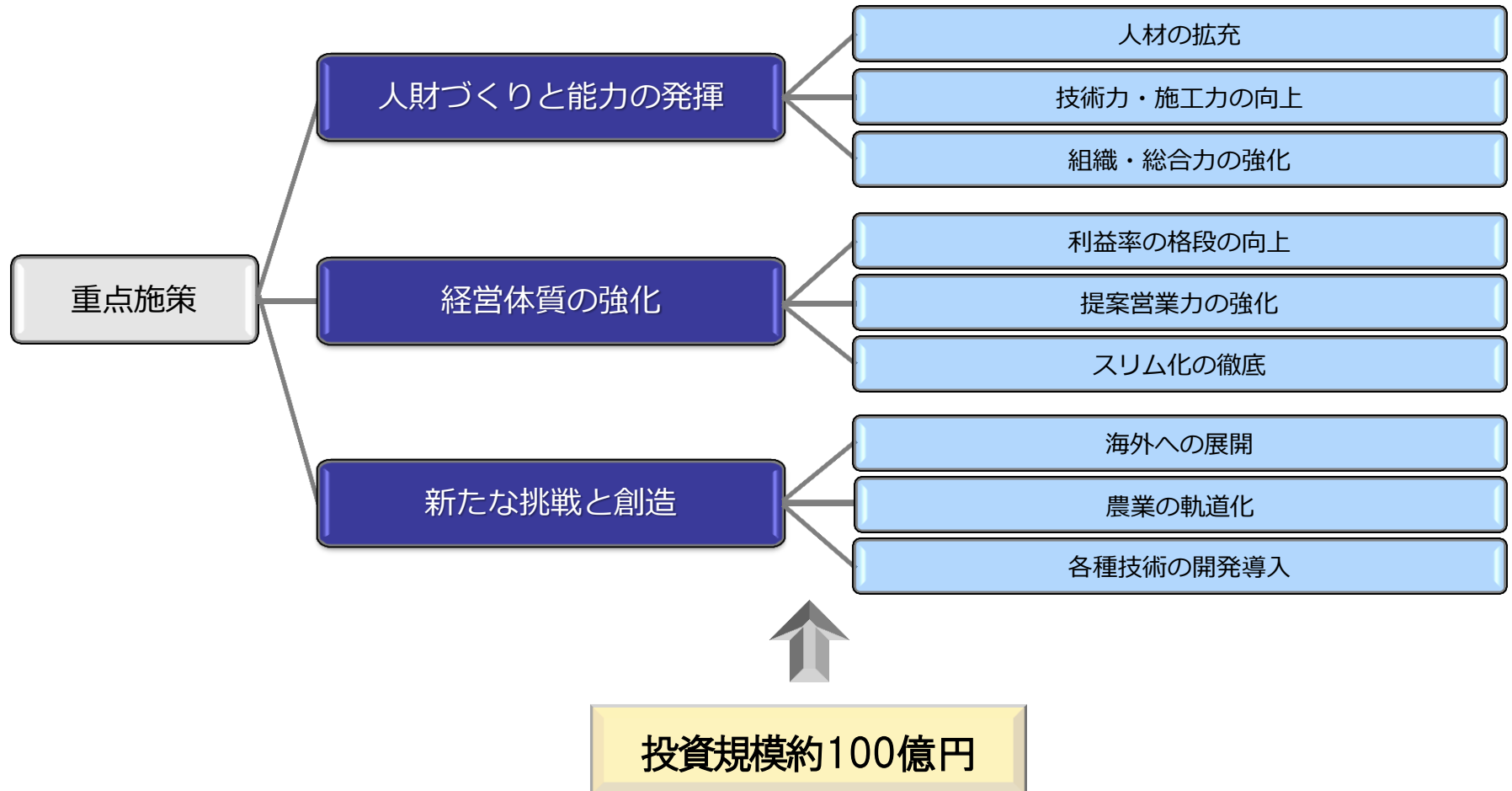
### 【実現のための対応方向】

四国域内・域外：既存顧客の深掘、新規顧客の開拓

首都圏での受注拡大、四国でのシェアアップ、利益率向上

新規分野の開拓：農業、海外、再生可能エネルギー、エコ、PFI 他

## 目標達成に向けた施策マップ



## 2020年に向けた決意

チーム四電工が一体となって、以上の諸活動にまい進し、目標の達成を目指します。

あわせて、その過程にあっては、

- **引き続き電力の安定供給への貢献**
- **諸工事をはじめ多様な時代のニーズへの即応**

等々を果たしてまいります。

これらにより、次なる半世紀に向け、新時代への変化適応力を強めながら、各ステークホルダーからの付託に応えるとともに、チーム員一人の成長と輝きが組織総合力の向上につながり、ひいては、地域社会からの信頼を得られるよう、努めてまいります。

以 上



## おことわり

本資料に含まれている将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要素により、記載されている見通し等とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。

投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願いいたします。

株式会社 四電五

社長室 企画広報部

E-mail: hnkikaku@mail.yondenko.co.jp



今日を支え 明日を創る

YONDENKO